



しるやま

令和8年4月13日

第2号

校長 渡邊 弘晶

令和8年度 本沢小学校68人で伸びるための合言葉

「思いやり」「まねしてかしこく」「力を合わせて」

そして「好きこそものの上手なれ」

4月8日（水）の始業式で、学校教育目標「豊かな心を持ち、かかわりを大切にしながら、共に生きる喜びを感じる子ども」を具体化するために、次のような合言葉の“たねまき”をしました。

☆始業式の校長の話から☆

1つ目のたねは、これまでも大切に育ててきた3つのことです。

「思いやり」というのは、相手の人がいますね。思いやりの心を育てるとは、どんな人ともつながろうとすることです。

だれとでもつながることができる魔法の言葉があります。それは、「あいさつ」です。いろいろな場面で、相手の人に気持ちよくつながろうとする気持ちが伝わると思いますね。

「まねしてかしこく」については、人や物事のよさをみつけ、「おもしろそう」「やってみよう」という思いをもって挑戦を続けてください。

「まねする」とは、よさをみつけてやってみることです。そうすることで、自分をかしこく、よりよい自分にしていってください。

「力をあわせて」については、一人でできないことも二人ならできる。自分一人だとあきらめてしまうことも、誰かと一緒ならがんばれます。また、一人でできることも、みんなでやればもっとできる。そんなことがありますね。

学校は、一人一人が目標をたてて、自分から進んでがんばること、精一杯力を出し切ること、そしてその力を合わせることができる場所です。

2つ目のたねは、「好きこそものの上手なれ」ということです。この言葉を聞いたことがありますか。「『好きなこと』は、自分で進んで工夫したり勉強したりするため、結果としてとても上手になる」ということです。みなさんも思い当たることはありませんか。誰もが、なんとなく「好きだな」「おもしろいな」「もっと上手になりたいな」というものを持っていると思います。そして、「いいところ」「自分のよさ」を持っていると思います。「元気な人」「面白い人」「真面目な人」「優しい人」「辛抱強い人」「働き者の人」。

さらに、「元気で、おもしろい」「元気でまじめ」「元気でやさしい」「元気で辛抱強

い」「元気で働き者」。そういった「好きなこと」や「自分のよさ」をいろいろな場面で、自分で気づき、見つけていきましょう。そしてみんなと一緒に育てていきましょう。

1年間、春にまいた“たね”が芽を出し、根を太らせ、自分らしい幹ができあがるよう、教職員全員で、68名を育てて行きたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様もどうぞ一緒に育ててくださいますよう、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



17名の新入生を学び舎に迎えた入学式



4月9日(木)、暖かな春の日差しのもと、新入生17名が笑顔いっぱい本沢小学校に入学しました。おめでとうございます。父母と教師の会 会長 佐藤 充様、学校運営協議会 会長 横尾 昌人様をはじめ、学校運営協議会委員の皆様にご列席いただき、歴史と文化の薫る本校に、新入生を迎えることができますこと、教職員一同大変うれしく思います。

新入生は、本沢小学校で人数が最も多い学年となります。

新入生入場の前、3分ほど静寂の時間がありました。これから入る1年生を迎え入れようと、一人一人が穏やかに緊張感をもって過ごす2~6年生の姿がとても素敵でした。そして、それに応えようと、正面から全員を見る1年生のまなざしも素敵でした。2年生も歓迎のこたばをはつらつと話し、元気よく迎え入れてくれました。

これから6年間、本沢小学校の新しい歴史をつくっていくことでしょう。

私からは「式辞」としまして、次の3つの言葉を贈りました。「げんき」「はっけん」「チャレンジ」しながら、たくましく成長してほしいと願っています。

一つめは、「げんき」です。元気であることはとても大切です。元気に運動したり、元気にあいさつをしたり、自分の元気をいっぱい出してください。本当に元気な心をもつと、友達にも優しくなります。それから疲れた時やつらいことがあるときもありますね。そんなときは誰かと話したり眠ったりして、また、にこにこ元気を取り戻すことです。先生たちとお家の人でみなさんの元気を支えます。

二つめは、「はっけん」です。勉強で初めて知ることや友達のいいところなど、小学校はたくさん発見するところです。見つけた発見を喜び、友達の発見をまねして、自分のものにしてください。

三つめは、「チャレンジ」です。はじめてのことたくさんあって、ときどきすることもあると思いますが、まずは、がんばってチャレンジしてみましょ。できないときは、誰かと一緒に力をあわせてやれば大丈夫です。失敗を恐れずチャレンジしてみてください。

